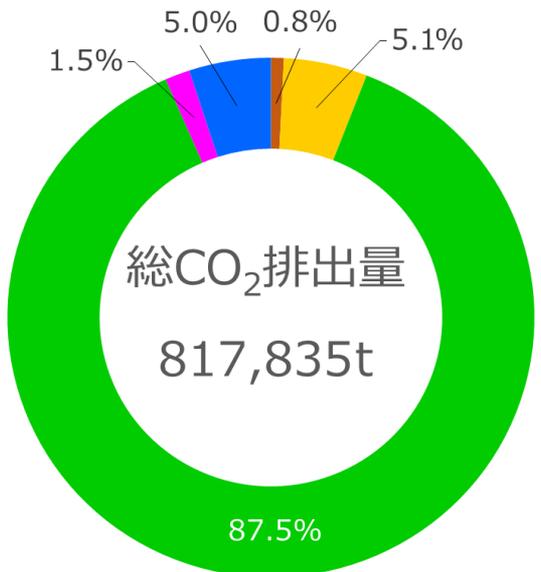


株式会社ディスコ

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：製造業（機械）● 事業概要：精密加工装置及び加工ツールの開発・製造・販売● 事業規模[任意]：売上147,500百万円（2019年3月期） 従業員数4,924人（2019年3月時点）
2.削減目標案	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み> Scope1・2に関して、2018年を基準とした2030年の削減目標について社内検討中 例：全社的な省エネ、電力の再エネ化推進など</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み> Scope3に関して、2018年を基準とした2030年の削減目標について社内検討中 例：歩留まり改善による省資源化、製品の省エネ性能向上など</p>

株式会社ディスコ

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ 2018年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況  <p>総CO₂排出量 817,835t</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スコープ1 ■ スコープ2 ■ スコープ3 販売した製品の使用 ■ スコープ3 購入した製品・サービス ■ スコープ3 その他のカテゴリ 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 6,409tCO₂e
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 41,974tCO₂e
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 769,453tCO₂e

株式会社ディスコ

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● カーボンプライシングや炭素税導入に伴い、製造コストが増加する可能性がある。● 自然災害（集中豪雨に伴う土砂崩れなど）に伴う物流網の麻痺、工場及び従業員が被災することで操業停止し、機会損失が出る。● 気候変動対策に積極的に取り組むことで外部企業評価が向上する可能性がある。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 2030年及び2050年に向けた中長期の環境目標についてSBTを参考にしてCO₂削減目標を検討する。● 気候変動対策に積極的に取り組むことで、生産性向上やBCM強化に繋げるだけでなく、顧客や投資家からの信頼性が向上し、ビジネスチャンスが拡大することが期待される。

株式会社ディスコ

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 環境部門で目標案を検討、社内環境委員会で経営層に説明し、社内コンセンサスが得られれば、SBTイニシアチブへ申請● パリ協定を踏まえた気候変動対応の重要性やSBT、RE100などのイニシアチブ参加の意義について社内で議論しており、SBT相当以上の目標を掲げて活動することについては理解を得た。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope1・2削減の施策として、生産工程の省エネ化や太陽光発電などの再エネ発電、再エネ調達などを進めることが必要と想定している。● Scope3の大部分を占めるカテゴリ11「販売した製品の使用」段階のCO₂削減に向けた開発が必要と想定している。